

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度 第2回 愛川町学校運営協議会 (愛川中原中学校)		
事務局 (担当課)		愛川中原中学校		
開催日時		令和5年11月17日(金) 18時30分～20時00分		
開催場所		愛川中原中学校 4階 図書室		
出席者	委員	7人 (岩本委員 小林委員 板橋委員 柳川委員 馬場委員 中丸委員 中村委員 )		
	その他	なし		
	事務局	3人 (教頭、他2名)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		/		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 学校長あいさつ</li> <li>3 会長あいさつ</li> <li>4 学校報告事項 (行事、学校の様子)</li> <li>5 部活動の今後のあり方について (学校職員体制の現状もふまえて)</li> <li>6 かたくり教室の現状と今後の支援について</li> <li>7 閉会</li> </ol>		

# 審 議 経 過

( 1 / 3 )

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

1 開会

2 学校長あいさつ

3 岩本会長あいさつ

4 学校報告事項（行事、学校の様子）

生徒の様子（生徒指導担当より説明）

学校行事等（校長より説明）

5 部活動の今後のあり方について

（校長より説明）

・改廃規定に基づき現在11部活になっている。生徒が減少すると職員も減少するので活動を維持していくには対策が必要で、安全面等を配慮しながら運営をするのに難しさがある。

・地域移行については、現在地域指導者として6名をお願いしている。愛川町では「部活動指導員」という制度を検討している。

・地域でも可能な限り人材を紹介していただきたい。

○子どもや保護者の考えも組み入れて検討できるとよい。

○子どもが減少し昔と状況が変わった。運営ができなくなる。

○愛川としてチームをつくるのがよいのではないか。

○経済的合理性で考えると部活動だけの問題でなく、いずれ学校全体の統廃合なども考えなければならぬのではないか。

# 審 議 経 過

( 2 / 3 )

○統廃合があったとして、1学級の人数が増えると目が行き届かなくなるのではないか。

○人材・資源を複合的に集めるのも転換期になってきている。

○教員がいっぱいいっぱいになっている。

○部活動指導員はボランティアか。

●時給が支払われる予定。

○生徒目線と教員目線の部活に対する思いは一緒なのか。フレックスな対応が必要なのではないか。

○子どもたちがどう思っているかが一番大切ではないか。教員の仕事が増え教科部活事務など整理する必要がある。部活動の人材確保では卒業生などを生かしてはどうか。

○国外には大人の専門学校、17歳以上ならだれでも入学できる学校など多様な学びの方法がある。学校の在り方を考える時期だと考える。さまざまな人や場所で議論ができるようになるとよいのではないか。

●気軽に話ができる場があるとよい。

○顧問のいない部活（指導者がいなくてもICTを使って技術を学ぶような）も今後考えられないか。

○まとまった時間を設けて生徒に部活のあり方を考えさせてみたらどうか。

## 6 かたくり教室の現状と今後の支援について

(校長より説明)

- ・教室に入ることができない生徒、外国につながる生徒、学習に困り感をもっている生徒の個別支援をする場所として「かたくり」という場所を作っている。まず、学校に来

# 審 議 経 過

( 3 / 3 )

てほしいという取り組みであるが、教員の規定時間数を超えて運営をしている状況がある。

NSCや地域の方にボランティアとして「かたくり」の教室にかかわっていただけるとありがたい。

●かたくり教室の状況の報告

○校内が原則か。

●校内が原則。

○学校に居場所があるということがよい。オープンという形がよいと思う。

7 閉会

会長(委員長)  
署名欄

岩本 誠